

# 流通合理化事業活動の概要

事業者：沖永良部島花き流通合理化実証協議会



## 計画概要

沖永良部島で生産される切花の消費地までの各段階（産地・消費地）において新たな鮮度保持技術を用いたコンテナを活用した維持期間を延伸の実装を行う。そのことで一回に輸送する積載数の増加を実現して物流の効率化を図る。

## 目標

令和10年度末までに、当該切花（えらぶゆり、菊、ソリダコ等）のテスト期間（毎年1月期とする）における1輸送あたりの積載平均バンド数の5%拡大を図る。665バンドから699バンドへ。

## 食料システムへの寄与

鮮度保持期間が延伸することで、物流便の調整や集荷タイミングの柔軟化が可能になり、近年の生産量低下や天候不順による物流積載効率の低下という課題が解決できる。結果として、地域生産者の収入の拡大、生産規模の拡大に繋がり、地域のみならず、遠方の消費者にとっても比較的廉価で高品質な沖永良部島の切花の入手が可能になる。

## 計画のイメージ

